

第
23
号

新風会だより

発行：平成 29 年 7 月 31 日

いそざき陽輔新風会

大分市長浜町 2-12-10

TEL 097(535)8260

<http://isozaki-office.jp/>

対談



「熊本地震からの復興と更なる発展に向けて」

別府市長 ^{なが} ^の ^{やす} ^{ひろ}
参議院議員 儀崎 陽輔**儀崎** 市長は、就任して2年が経過されましたね。**長野** はい、4月30日で丸2年を迎えました。**儀崎** この間、様々なことがあったと思いますが、最初に熊本地震についてお話をお伺いします。2度目の地震の翌日、私は、由布市に視察に入り、その翌々日に別府市に入りました。

最初は、由布市の被害が大きく報道されていたのですが、別府市に入り、予想以上に被害が大きく、驚きました。

地震の際、どのような御苦勞があったのかをお話いただけますか。

長野 儀崎先生には、早々に別府市に入っただき、またお力をお貸しいただき、本当に感謝しています。

地震や津波対策は十分にやっていたつもりだったのですが、最大42か所の避難所を一齐に開き、5千人以上の方が避難され、大変な混乱となりました。

その後、日が経つにつれ、自宅へ戻る方も増えてきましたが、地震が起きたのが夜だったこともあり、夜になると「不安だ、怖い。」と言って避難所に再び集まってくるという状況が2週間以上続きました。

その間、市役所の通常業務もあるので、業務と並行して市民の皆様をサポートする体制をどう作っていくかということが最初の課題でした。

自宅の崩壊、なかでも石垣やブロックの崩壊は、保険では十分にカバーできないので、別府市は、独自に、25パーセントのプレミアム付き建設券「べっふ復興建設券」を発行しました。これは、大変喜んでもらえました。

また、観光においては、儀崎先生にも随分助けていただきましたが、観光クーポンとして国の「九州ふっこう割」の発行は、大きな起爆剤になりました。年末までには、客数もほぼ前年度並みに戻りましたし、現時点では、前年度、前前年度と比べても観光収入はプラスとなっています。数字の上では、ほとんど地震以前の状況に戻ったと言えます。

儀崎 地震後、国では毎日のように地震対策を話し合いました。熊本の国会議員よりも大分の国会議員の方が、声が大きいと言われるくらい、私たちも真剣に取り組みました。「九州ふっこう割」については、当初予想していたよりも大きな予算がついたので、私もがんばった甲斐がありましたし、良い結果が出たのではないかと思います。

地震後の別府市の対応は、非常に心温かいものを感じました。特にペットと一緒に避難できるように、早い段階から取り組んでいて、本当に感心しました。

長野 ペットを飼われている方にとっては、ペットは家族の一員です。ペットを飼っている方は、最初はペットと一緒に車の中で過ごすのですが、狭い空間では、飼い主さんはもちろん、犬や猫も疲れてきます。ペットと一緒に避難所に行きたいと思っても、避難所で犬や猫と一緒に過ごすことに抵抗を感じる方もいます。

そこで、避難所の中で、特定の部屋やブロックをペット同伴の方専用にしたらいいいのではないかと

御意見を頂き、すぐに実施しました。その後、ボランティア団体に屋外テントを用意していただいて、そこでペットと一緒に避難生活ができるように更に工夫しました。

磯崎 私も、テントを拝見しましたが、とても良いアイデアだったと思います。

避難所の中だと、どうしてもペットの鳴き声などが気になって落ち着かないという御意見もあったようですが、屋外のテントだとペットも飼い主さんもその辺は気兼ねなく安心して過ごせたようですね。

今回の地震では、旅館が大きなダメージを受けましたね。



長野 ゴールデンウィーク中、11万人のキャンセルがありました。そこで、これまで地元の旅館に宿泊することはほとんどなかったのですが、まずは自分たちが別府の良さを再確認し、別府を元気にしようという思いで、私は市内の旅館に10連泊し、市の職員にも協力を仰ぎました。苦しい時こそみんなで力を合わせようと、結束力が高まったと感じています。

磯崎 大分県の「シンフロ」や、女将をはじめ地元の方が出演するビデオなどビジュアルの面でも、別府市は大変話題になりましたね。そして、今は、長野市長を全国的に有名にした「湯～園地」が、注目されています。

長野 復興に関するPRビデオはこれまで14本作成し、おかげさまで好評を博し、復興には役にたったと思います。ただ、別府市が完全に復興を果たせたかという点、正直まだ不安な点もありました。それで、別府市民が胸を張って誇れるような方法でPRをしたかったです。

別府市のシンボリック的存在である90年の歴史を持つ別府ラクテンチと別府温泉を掛け合わせて何かできないだろうかという発想からたどりついたのが、「湯～園地」です。温泉につかりながらメリーゴーラウンドやジェットコースターに乗るなど面白いものを作りたい

と思い完成したのが、「湯～園地」のビデオです。

そこで、「PRビデオが100万回再生に達したら「湯～園地」を実現させます。」と公約したのですが、なんとわずか3日間で100万回再生を達成し、今では370万回再生に達しました。

そこで、クラウドファンディングで資金集めを始めましたが、「湯～園地」を実現させたいという方々から、現時点で7000万円を超える寄附金が集まっています。実現への目途が付き、今はいろいろと趣向をこらしているところです。

磯崎 開催時期は、決まっているのですか。

長野 別府の夏祭り期間と合わせて、7月29日、30日、31日の3日間限定で開催します。

磯崎 それは楽しみですね。

長野 今回の震災により失うものも多かったのですが、震災を機に「自分たちのまちは、自分たちで守らなければ」という強い思いをみんなが抱き、今まで以上に結束力が強くなったと思います。

磯崎 別府は、別府八湯といわれ、それぞれ個性があり、そこがいいところでもあるのですが、今回の震災で、強い絆ができ、みんながまとまって観光に取り組みましたね。

そして、同じく被災地の湯布院と別府は、長年ライバル的存在でしたが、今回の震災を経て、お互いの観光協会が協力して復興プログラムを組むなど、手と手を取り合う新しい関係を築きましたね。

長野 そうですね。観光面で危機的状況を経験したことで、ライバルの別府と湯布院が協力しようという機運が生まれ、協力して世界最大の温泉地としてPRすることができました。

また、これからは、別府と湯布院だけでなく、県内の枠組みを超えて、熊本の黒川や小国なども広域的に連携していく必要があります。これは、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックに向けて、観光客に長期的に滞在してもらおう戦略になると考えています。

磯崎 私も、大分県の観光は、まずは別府に入っただき、そこから他の地域と連携をして観光をしていただくというのが良いのではないかと思います。これで、一つの連携の形が整いましたね。

今後の観光戦略としては、どういうことを考えていますか。

長野 現在年間約870万人の観光客にお越しいただいていますが、観光客は「体験型観光」を好む傾向にあります。これからは、体験型プログラムを増やしていかなければならないと考えています。あとは、観

光客の宿泊数をいかに伸ばすかということに取り組んでいかなければなりません。

磯崎 例えば大型クルーズ船に別府に寄港してもらえたら、観光も潤うのではないかと思います。いかがでしょうか。

長野 クルーズ船の場合、船から降りて乗船までが、だいたい6時間から8時間までです。大抵は、別府市内だと地獄を観光し、免税店でショッピングをするのですが、港からバスでそのまま阿蘇へ観光に出かけることもあります。ですから、いかに別府市内の観光地を多く回ってもらえるようにするか、しっかりと事前に対策を練る必要があります。



磯崎 アメリカのクルーズ船の社長が、「乗船客は旅館に宿泊はできないが、必ずリピーターがありますよ。」と言っていました。リピーターについてどのようにお考えですか。

長野 リピーターを増やすには、とにかくまずは別府市に立ち寄ってもらうという施策が必要です。実は今、「東洋のブルーラグーン構想」というのを考えています。アイスランドに世界一の露天風呂「ブルーラグーン」があるのですが、別府には抜群の湯量と素晴らしいロケーションがあるので、それを活かし、ブルーラグーンより広大な露天風呂を創れないかという構想を持っています。

磯崎 うーん、いいですね。

長野 別府を象徴するもの、世界に誇れるものを創りたい、チャレンジしたいと思っています。

磯崎 ところで、別府市の海岸は随分ときれいに整備されましたが、これを使って何かできないでしょうか。

長野 海岸については、海岸と砂浜と緑地を国・県・市が

別々に管理しているの、国土交通省と県にも、何とか別府市が一体的に管理し、そこでもうかる事業ができるような仕掛けができませんかとお願いを続けた結果、先導的事例として、試験的に実施できることになりました。例えばサイクリング、ビーチバレー、ビーチフラッグ、バーベキューなどを日常的にできるスペースを作ったらどうかと考えています。

磯崎 折角きれいな海岸になったので、活用しないともったいないですね。

長野 海岸整備の一番の目的は防災ですが、是非利活用させていただければと思います。

磯崎 最後に市長の今後の抱負をお聞かせください。

長野 別府は何と言っても観光のまちですが、観光客に目が行きすぎて市民が置き去りにされている感が今までありました。何のために仕事をし、何のために観光に力をいれるのかということ、それは別府市民の皆様様に幸せになっていただくためです。このことを忘れず、自分たちが住んでいるまちに誇りを持ち、地元の資源を徹底的に磨き、徹底的に盛り上げていく、そういう気持ちで、行政・市民が一丸となって、より魅力的なまちにしていきたいと思っています。そして、そういう市民の思いこそが、多くの観光客に来ていただくことにつながると思います。

磯崎 是非、今後がんばってください。ありがとうございました。



ホームページで、活動記録を御覧いただけます。

<http://isozaki-office.jp/>

携帯サイトは、右のQRコードからアクセスしてください。メルマガ会員も、募集しています。



新風会ひろば



皐月賞で内閣総理大臣賞を授与



臼杵(うすきね)お披露目式



エストニアのタムム農村大臣と



ジビエ料理を実食



大分かぼすにGI登録証授与



朝地町綿田地区の地割れ現場を視察



綿田地区の皆さんの御意見を拝聴



全国農業会議所の二田会長(右)と大分県の井上会長

自民党に入党して、磯崎陽輔を支えてください。

自民党では、現在、党員獲得運動を行っています。議員ごとに党員獲得目標が定められ、当支部は、1,000人とされています。

つきましては、磯崎陽輔が支部長を務める自民党参議院選挙区第一支部に入党いただき、磯崎陽輔の活動を支援していただくようお願いします。

また、既に党員になっていらっしゃる方も、是非とも御家族の入党に御協力をお願いします。

◇ 入党資格 ◇

- 1 わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- 2 満18歳以上で日本国籍を有する方
- 3 他の政党の党籍を持たない方

一般党員 党費年額 4,000円

家族党員 党費年額 2,000円

※入党申込書を送付させていただきますので、事務所まで御連絡ください。